



2015年TOMODACHIイニシアチブ活動報告書



異文化交 流を担う 未来のリーダーの育成

親愛なる友人の皆様

第二次世界大戦終結から70周年を迎えた2015年は、日米関係においてきわめて重要な1年でした。そして日米両国民が共有してきた価値観や、過去70年間に日米間に培われた強固で揺るぎない関係を振り返る機会となりました。日米両国が緊密なパートナーシップを結んでいることは、2011年の東日本大震災直後に米軍と自衛隊がトモダチ作戦で連携し、東北地方で人道援助を行ったことから明らかでした。

「TOMODACHIイニシアチブ」は米国と日本の間にある、このような友情と協力の精神を体現しています。4年目を迎えたTOMODACHIは、文化交流プログラムやリーダーシップ育成研修を通して、日米両国で4,500人を超える若者の人生に強い影響を与えてきました。本年だけでも、約1,200人の若い人々が49のTOMODACHI交流プログラムに参加しました。

2016年のTOMODACHIプログラムは、アラムナイ(プログラム経験者)・プログラムや女性のエンパワーメントとリーダーシップの促進、援助を必要としている学生への奨学金の提供、日米両国でのインターンシップの機会の拡大、さらには科学技術研究の奨励に力を注いでいきます。こうしたプログラムは、参加者が異文化交流を担うリーダーとなり、グローバルな課題の解決や日米関係の強化に携われるよう支援することを目的としています。

TOMODACHIの素晴らしいパートナー企業・団体は、日米関係の活性化に寄与してきました。また、オバマ大統領と安倍総理大臣が掲げた2020年までに日米の学生交流を倍増するという目標達成に向け、ご支援を頂いていることに深く感謝しています。

若者と「TOMODACHI世代」の明るい未来に対する私たちのコミットメントに賛同して下さっている皆様に心から感謝申し上げます。

Carrie Kennedy

キャロライン・B・ケネディ
駐日米国大使

Teri Ann O'Connell

アイリーン・ヒラノ・イノウエ
米日カウンシル会長



「東日本大震災の復興支援として設立をされた『TOMODACHIイニシアチブ』は、その象徴的な例です。東日本大震災発生からもうすぐ5年を迎える機をとらえ、日本政府は、『TOMODACHIイニシアチブ』との協力関係を強化することを発表いたします。」

— 安倍 晋三 内閣総理大臣 2015年米日カウンシルアニュアル・カンファレンス



使命

TOMODACHIイニシアチブは、公益財団法人米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップです。東日本大震災後の復興支援として発足され、教育、文化交流、リーダーシップ育成などのプログラムを通して、日米の次世代リーダー育成を目指します。

ビジョン

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協力的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

背景

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本はTOMODACHIイニシアチブを開始しました。TOMODACHIは公益財団法人米日カウンシルと在日米国大使館とが主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

将来

TOMODACHIイニシアチブは、これからも官民パートナーシップの模範としての役割を果たしていきます。そして、アラムナイ(プログラム経験者)プログラムなど、日米の次世代リーダーを育成する各種プログラムを企画・構築し、日米関係を支援する企業・団体とのパートナーシップを拡大していきます。

TOMODACHIプログラム

教育プログラムは、短・中・長期的な留学体験などを通じ、互いの文化に触れることで日米両国の若者の交流を活性化また拡大し、彼らの人生に刺激を与えるものです。

文化交流プログラムは、スポーツ、音楽、芸術において日米両国の若者が互いの文化や技術を学び、彼らの将来に繋がるきっかけを提供するものです。

リーダーシッププログラムは、次世代リーダー候補と起業家に対し、彼らを成功へ導くためのスキルや、専門知識の提供をはじめ、資金調達を可能にするためのサポートを行います。

アラムナイプログラムは、TOMODACHI体験を基盤に、日米の若者たちがさらに経験を積み、スキルを身につけ、自信をつけることによって、夢を実現し、世界に通用する次世代リーダーになるよう支援します。

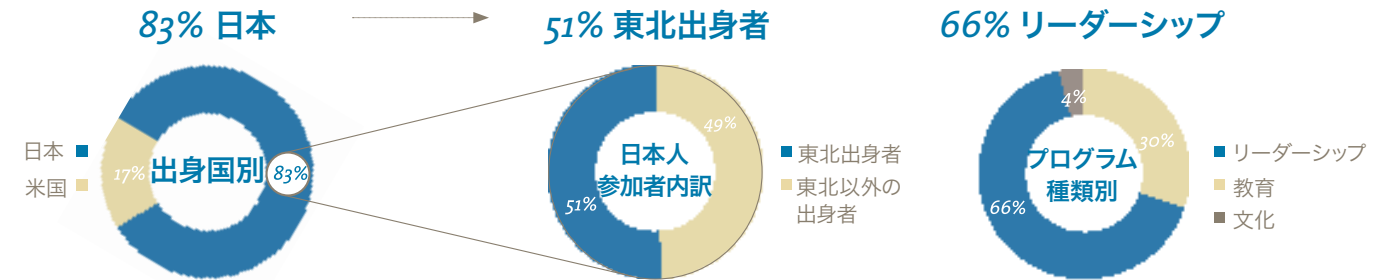
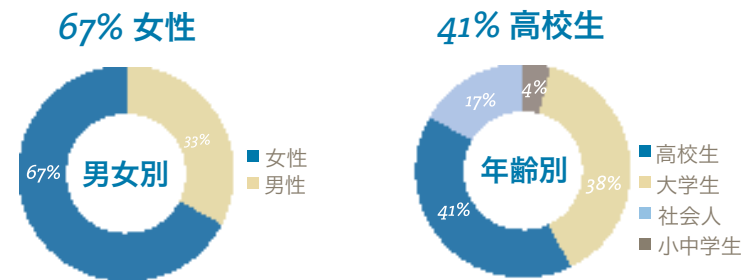


TOMODACHI supports cross-cultural youth leadership development throughout a life cycle of experiences, with a focus on developing leaders.

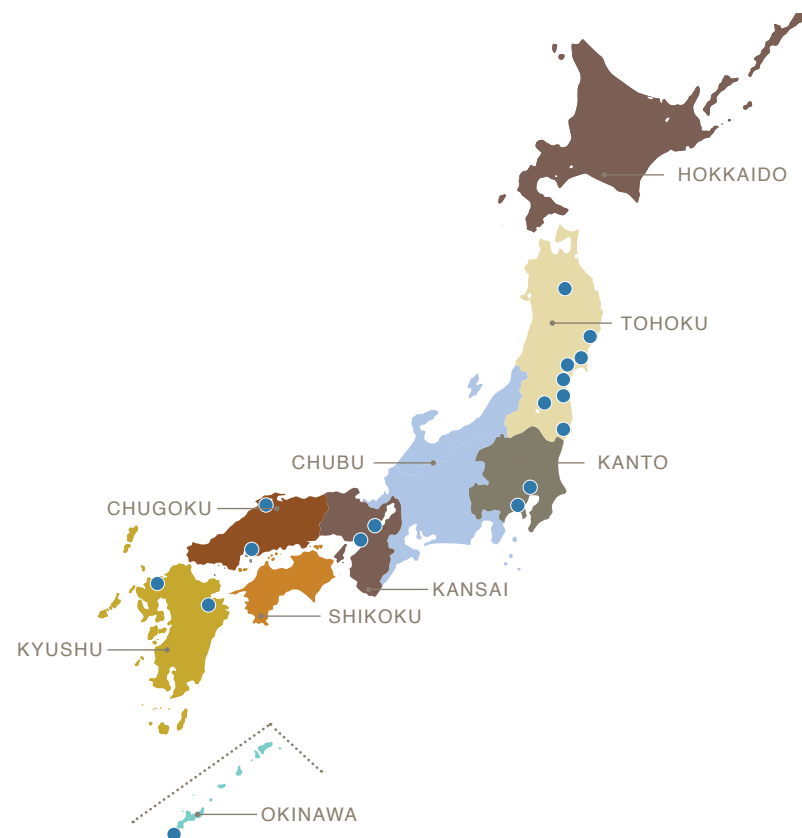


先駆的な 官民 パートナーシップ

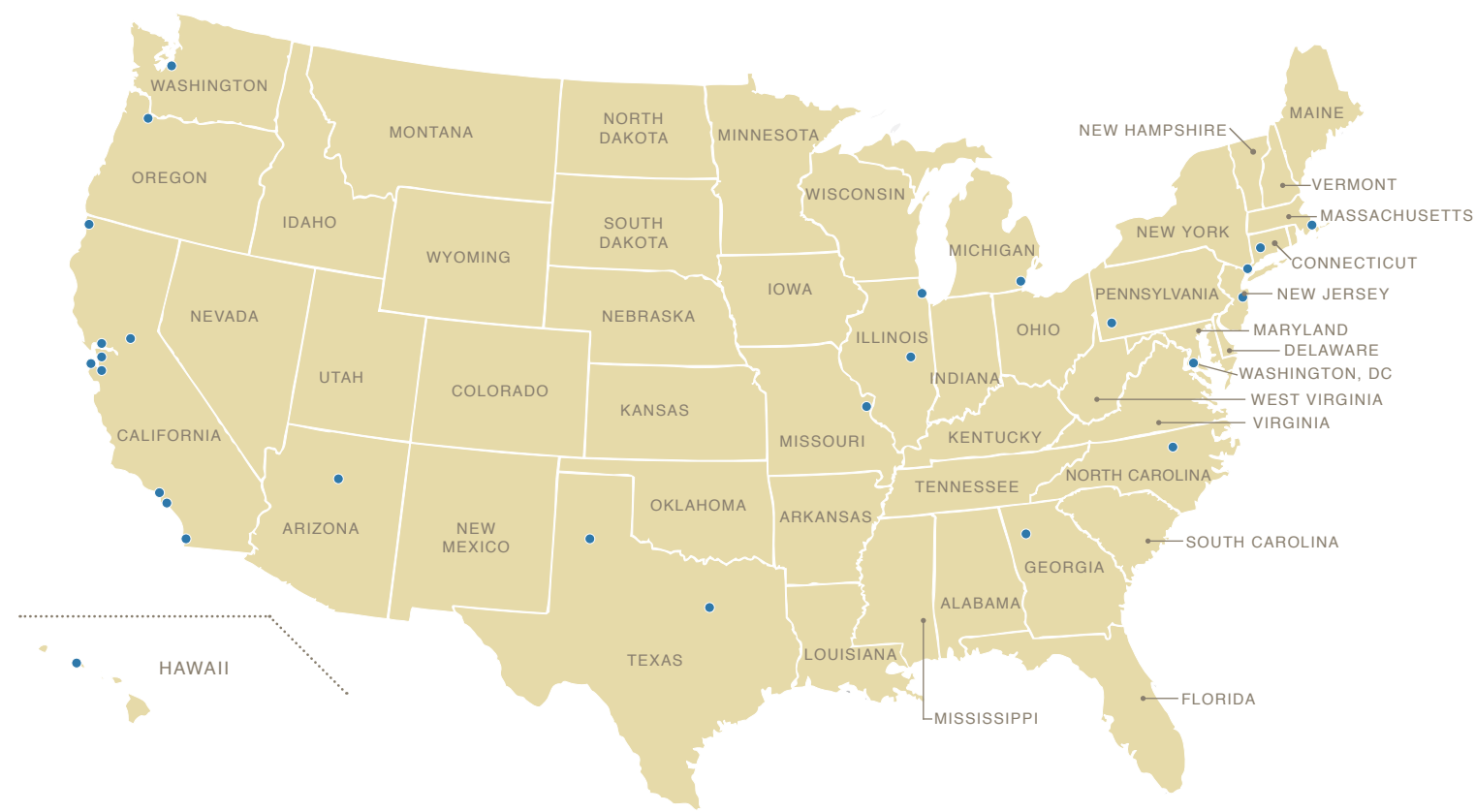
2014年TOMODACHI
イベント&プログラム参加者数: **1,198**



2014年は **49** のプログラムを日米 **43** カ所で実施

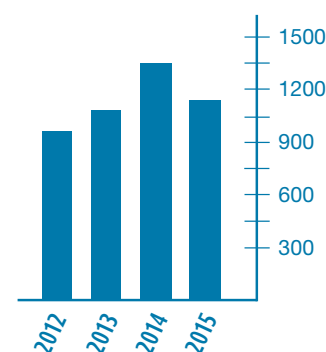


730 participants went on exchanges in 2015.

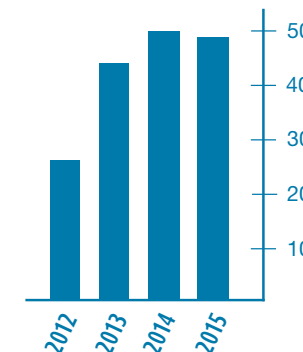


発足から2015年12月までに **33,000**
以上のイベントとプログラム参加者を記録

参加者数の増加



プログラム数の増加



最大の効果をもたらす パートナーシップ

TOMODACHIイニシアチブを支援するストラテジック・パートナーは、短期間の交流から奨学金まで、さまざまなニーズに対応したプログラムを提供しています。プログラム参加者は、次世代を担うリーダーとして成長し、ネットワークを広げるために実践的なスキルを身につけることが可能です。このようなプログラムを通して学んだ経験は、プログラム終了後も参加者の人生に大きな影響を与えています。2015年には、550名を越える高校生から若手社会人が、ストラテジック・パートナー各社の支援による16のプログラムに参加しました。こうした「TOMODACHI世代」のメンバーは、プログラム終了後もTOMODACHIの主催するアラムナイ(プログラム経験者)向けイベントやプログラムに参加して交流を深め、お互いに刺激を与えながら成長を続けています。

「私たちは自分たちのホームタウンで似たような問題に直面していますが、また同じような情熱や愛があることが分かりました。このプログラムに参加したことで、ここで学んだことを持ち帰り日本で生かそうと、さらに強く決心しました」

—加藤美紀 TOMODACHI-Mitsui & Co. リーダーシップ・プログラム



2015年ストラテジック・パートナー・プログラム

TOMODACHIアフラックプログラム

前途有望な日本の若手が癌専門医に、米国における小児癌研究と治療方法について広範に学ぶ機会を提供するプログラム。2015年は札幌北榆病院の佐野弘純医師がジョージア州アトランタにある「アフラックがん・血液病センター」に派遣され、6カ月間にわたって最先端の有効症例を学びました。

TOMODACHI大和ハウス学生リーダーシップ会議

本プログラムの第1回会議がカルフォルニア州シリコンバレーで4月に開催され、日本からの交換留学生を含めたカルフォルニア州の学生30人が参加しました。リーダーシップ会議では学問的、職業的、そして個人的に日米関係に関心を持っている学生のために起業家精神とイノベーションが重点的に取り上げられました。

TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ロードショー

パフォーミングアーツを専門とする「ヤングアメリカンズ」のメンバー15名が、岩手、宮城、福島県の50の小中学校を含む会場で、約3,300名を対象に、歌やダンスを中心としたワークショップを開催しました。ヤングアメリカンズが提供するワークショップは、心を開き、自信をつけ、異なる文化を学ぶ意欲を育成しています。

TOMODACHI女子高校生キャリアメンタリングプログラムin福島

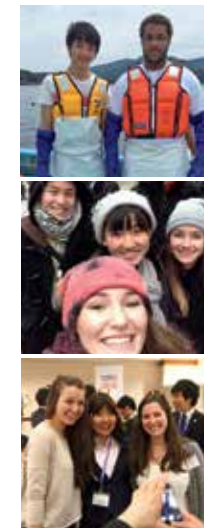
福島県内の高校2年生の女子、約120名を対象とした4つのセッションで構成されるキャリア育成プログラム。参加した女子高生は、海外からの女子留学生、活躍する社会人女性等との出会いを通して、自分の未来にも同様に多くの選択肢があることを学び、将来福島県を担う女性リーダーとして活躍することが期待されています。このプログラムは、株式会社ローソンと株式会社ファミリーマート両社の支援を受け設立されたTOMODACHIコンビニ基金の支援で実施されました。

TOMODACHI HLAB TOHOKU

8月に開催された9日間のリベラルアーツ教育プログラム。東北地方の高校生・大学生100名が参加しました。またプログラムの一環として、日米の大学生が協力して、日本の高校生向けのサマースクールも行われました。東北で初開催となった今回のHLABは、株式会社ローソン、株式会社ファミリーマート両社によるTOMODACHIコンビニ基金の支援で実現しました。

TOMODACHI Honda文化交流プログラム

岩手県の高校生20名がカリフォルニア州ロサンゼルスで2週間の文化交流プログラムに参加し、音楽を通じて米国の伝統や文化を学びました。プログラムのハイライトは元日のローズ・ボール・パレードへの参加で、その他全米日系人博物館やアメリカン・ホンダモーター社を訪問しました。



地域の人々に 活力を与える



TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム

2015年が初年度となった本プログラムに、宮城県から看護学生8名とメンター1名が参加しました。3部構成のプログラムは災害医療の分野に特化することで、東北地方の看護師の能力育成をサポートします。参加者は8月にニューヨークとワシントンDCを訪問し、様々なタイプの災害について、そして米国が行っている国内外の災害への対応について学びました。

J.P. モルガン支援のTOMODACHI NGO リーダーシップ・プログラム

日本の非営利団体で活躍する次世代のリーダーを対象に、国内外で将来起こりうる災害時に有効な対応と、米国内への様々なリソースへのアクセス方法を学ぶ研究プログラムです。2015年は3段階のプログラムで構成され、防災・減災(DRR)ワークショップ(1月)、ワシントンD.C.におけるリーダーシップ研修(6月)、人道支援ワークショップ(11月)を提供しました。

TOMODACHIメジャーリーグ・ベースボール(MLB)パートナーシップ

8月に実施されたプログラムで、日米の元プロ野球選手が、50名の東北の参加者を含むリトルリーグの選手250名を直接指導するという貴重な機会を提供しました。MLBからは殿堂入りしているランディ・ジョンソンとトニー・ラルーサ両氏、2001年ワールドシリーズの英雄ルイス・ゴンザレス氏、日本のプロ野球界からはかつて投手として活躍した川崎憲次郎氏が指導にあたりました。このプログラムは、東日本大震災の津波で甚大な被害を受け、MLBの支援でTOMODACHIイニシアチブを通して再建されたTOMODACHI石巻市民球場で開催されました。

TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program

3年目を迎えたこのメンターシップ・プログラムは、東京、大阪、福岡、那覇と日本国内4都市で開催され、計92名が参加しました。女性のメンターを迎え、主に自己啓発、リーダーシップ研修、ネットワーキング・スキルの向上、財務などに特化した年間5回のワークショップを提供しました。

TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Program

日米の官民両分野における次世代のリーダーが、日米関係の発展に意欲的に取り組みことを目指したプログラム。「トランスフォーメーション、将来への展望」というテーマに沿って、官民を代表する日米各10名の若手プロフェッショナルが双方を訪問し、イノベーション、最新のテクノロジー、産業振興、そしてこれらの分野において日米関係が果たす役割について学びました。

TOMODACHI・MUFG国際交流プログラム

4年目を迎えた交流プログラムでは、カリフォルニア州南部から20名の高校生が東京、京都、広島、仙台を訪問しました。2週間に渡って実施された教育交流、ホームステイ、観光などを通して、日本の文化や価値観に触れました。

「私と、その他数々のTOMODACHIアラムナイであるスピーカーの方々が話ししてきた通り、私たち友達世代に出来ない事なんて有りません。TOMODACHI世代の仲間である皆さん、これからもTOMODACHIの活動に様々な形でコミットし、繋がりを大切にしてください。私たちが互いに刺激し合い協力し合えば、どんな高みにだって登れるでしょう。」

— 谷 幸穂、TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program



TOMODACHIソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

東北地方出身の高校生100名が、カリフォルニア大学バークレー校で3週間の集中コースに参加し、グローバルに通用するリーダーシップ・スキルと地域における活動や貢献について学びました。参加生徒はY-PLAN (Youth-Plan, Learn, Act, Now!) を学び、ホームステイ、ボランティア活動、現地の高校生との交流を通じて、アメリカ社会と文化に対する理解をさらに深めました。

TOMODACHI住友商事奨学金プログラム

2014年に発足した大学生を対象とする奨学金プログラム。財政援助を必要としている学部生を対象に、約1年間の米国留学を支援する奨学金を提供しています。2015年秋には5名の日本人学生が選出され、全米各地の大学で留学を開始しました。このプログラムの目的は、グローバルな視点を養い、日米の架け橋として活躍する次世代のリーダーを育成することです。

TOMODACHI Suntory Music Scholarship Fund

日本の若手音楽家を対象に、米国有数の名門音楽大学であるジュリアード学院、バークレー音楽大学、サンフランシスコ音楽院に留学する機会を提供するプログラムで、2015年には3名の学生が選出されました。本プログラムは、音楽を学びながら日米関係の発展に貢献する次世代リーダーを支援しています。

TOMODACHI Toshiba科学技術リーダーシップ・アカデミー

日米の高校生16名が参加したこのプログラムは、参加者が協力して災害に強いスマートコミュニティを構築するため、課題や問題を特定し、創造性に富んだ解決策に取り組む機会を提供しました。米国で「サイエンス・ガイ」として親しまれているビル・ナイ氏の直接指導を受けた日米の生徒は、STEM(科学、技術、工学、数学)についての知識を深め、世界中の課題解決に、科学技術を応用する方法を模索しました。

TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

日本のビジネスおよびファッション界のを担う次世代のリーダーを支援するプログラム。グローバルで活躍できるスキルを学ぶ機会を提供します。2015年には3名の学生が奨学金を受け、アメリカ有数の教育機関、スタンフォード大学経営大学院、ニューヨーク州立ファッション工科大学(FIT)、パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザインで学んでいます。

東北の若者に 希望を

TOMODACHI交流基金は、トヨタ自動車株式会社、三菱商事株式会社、株式会社日立製作所の多大な支援により発足されたプログラムで、東北地方の若者にアメリカにおける包括的で革新的な教育・文化交流プログラムに参加する機会を提供しています。2015年年末までに、同基金の下、43の革新的な草の根プログラムが実施され、たくさんの東北の若者を刺激し、長期的によい影響を与えています。また、同基金は全米各地の日米協会などさまざまなプログラム実施団体にも活力を与え、姉妹都市関係の促進や日米間の新しいパートナーシップを育んでいます。TOMODACHI交流基金は、自ら、またコミュニティに新たな希望を見い出そうとしている数多くの若者を支援しています。

「TOMODACHIプログラムの最初から、参加学生の中に強い連帯意識があると感じていました。アメリカ人学生と日本人学生と一緒に働いた方法は刺激そのものになりましたし、誰とでも一緒に働けるという自信を私に与えてくれました。この素晴らしいプログラムのアラムナイであることを光栄に感じています。キャリアを通してTOMODACHIプログラムをサポートしていきます」

—ライアン・ガンドルフォ TOMODACHI世代の構築プログラム



2015年TOMODACHI交流基金プログラム

第67回日米学生会議 | TOMODACHIアロハ・リーダーシッププログラム | TOMODACHI世代の構築：日米の学生による社会的問題解決のためのパートナーシップ | TOMODACHI ダラス・仙台 ヤング アンバサダーズ プログラム | TOMODACHI デル・ノルテ高校陸前高田交流プログラム | TOMODACHI FIRST (Food Innovation for Regional Sustainability in Tohoku) プログラム | TOMODACHI 日本協会ジュニアフェローズプログラム | ハワイ・レインボーキッズ・プロジェクト | TOMODACHIサンディエゴ/ティファナ・大船渡青少年野球交流プログラム | TOMODACHI Social Innovation in Seattle Scholars (SIIS) Program 2015 | TOMODACHI 南カリフォルニア・福島 ユース文化交流プログラム | TOMODACHI セントルイス・石巻友情プログラム | 2015年度TOMODACHI テイラー・アンダーソン記念基金リサーチ交換プログラム | TOMODACHI米日ユース交流プログラム 2015 | TOMODACHIフィルハーモニック若き作曲家福島・ニューヨークプログラム2015

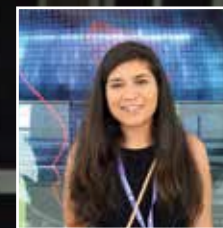
異文化で 活躍する リーダーの育成

スポンサーまたはサポーターと呼ばれる協賛・支援企業・個人からの寄付が、教育交流やスポーツ、音楽、芸術関連の文化プログラムおよびリーダーシップ育成プログラム幅広い分野のTOMODACHIプログラムを支えています。2015年に TOMODACHI は日米の実施団体と協力し、中学生から若手の社会人まで350名を超える前途有望な次世代のリーダーを対象に、18の一般基金プログラムを提供しました。東北地方から沖縄を含む全国各地および全米各地の若者が同プログラムに参加しました。



「私がこの世界で何をするのかに関係なく、TOMODACHIでの経験は人生の中で最も大きな変化を起こしてくれたと確信しています。私の中に日本文化への深い関心を根付かせ、その関心をさらに高め、そして日米関係や日系米国人を支援することの重要性や、人間として互いを守りあう責任をTOMODACHIが教えてくれました。」

—ブリシラ・トーレス、TOMODACHI イノウエ・スカルーズプログラム



2015年一般基金プログラム

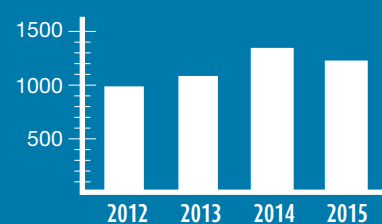
TOMODACHI ADA25 Lead On! プログラム | TOMODACHI ビヨントゥモロー・グローバル・リーダーシップ・アカデミー2015 | TOMODACHIブリッジング・スカラーシップ | TOMODACHI CIE日米草の根交流サミットおおい大会 | TOMODACHI新生リーダープログラム | TOMODACHI フォースターユース・リーダーシッププログラム | TOMODACHIグローバル・クラスメート | TOMODACHI イノウエ・スカルーズ プログラム | TOMODACHI インターンシップ・プログラム | TOMODACHI草の根交流プログラム-太鼓を通した絆 | 2015 TOMODACHI-Frogs jr. プロジェクト | 2015 TOMODACHI-SCORE スタディーツアー | TOMODACHIシアトル-福島草の根交流プログラム | TOMODACHIソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム | TOMODACHI 2015 春休みホームステイプログラム | TOMODACHI 日米クリーンエネルギーローカルパートナーシップ研修プログラム | TOMODACHIアラスカ大学アンカレッジ校-岩手大学KAKEHASHIプログラム | 第5回米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス(SFC)・TOMODACHIアントレプレナーシップ・セミナー

関わり 続ける

TOMODACHIイニシアチブは次世代のリーダーとなり、学んだことを地域社会に還元し、日米関係の強化を促進していく、多様な経歴を持った日米の若者たちのネットワークの拡大を目指しています。

2015年12月までに4,600人以上のTOMODACHIアラムナイが169のプログラムに参加

Number of Alumni



「TOMODACHI サミットでは、熱意に溢れ、同じような考えを持ちながら、何らかの形で社会に貢献する、100名以上のアラムナイと交流するきっかけを提供してくれました。また、日米各地からそれぞれの経験やアイデア、エピソードを共有するプラットフォームとしての役割を果たしたように思います。参加したことで日米関係や近代の国際情勢に対する理解を更に深めることができました。」

—ロビン・ルイス、TOMODACHI NGO リーダーシッププログラム



2015年TOMODACHI 世代サミット

2015年11月8日、プルデンシャル財団の支援によりTOMODACHIイニシアチブは、東京の上智大学で「TOMODACHI世代サミット」を初開催しました。本サミットでは、文化交流やホームステイ、リーダーシップ育成プログラムなど、様々なTOMODACHIプログラムを経験した140名の大学生から若手プロフェッショナルのアラムナイが、日米各地から集結しました。

サミットはジョン・ルース前駐日米国大使の基調講演で幕を開けました。ルース前大使には、TOMODACHIイニシ

アチブが誕生した経緯についてお話頂き、日米の次世代リーダー育成に対する理念をアラムナイに共有して頂きました。基調講演の後は、TOMODACHIアラムナイ3名が、プログラムでの経験や、現在取り組んでいる活動を紹介しました。その後TOMODACHIアラムナイは、最高の第一印象作りや、歌とダンスを通じて自信をつける異文化や言語を学ぶ色々な実践的なワークショップへ参加しました。

また、サミットの締めくくりとしてレセプションでは、TOMODACHIアラムナイ

をはじめ、協賛および関連企業の皆様、そして翌日から開催された米日カウンシルのアンニュアル・カンファレンスに参加する日系アメリカ人のリーダー達が一堂に会しました。

TOMODACHIアラムナイは、TOMODACHI世代の一員としてのアイデンティティを強め、日本語と英語を使い分けながら、様々な分野の参加者と交流しました。

2015 TOMODACHI Generation Summit in Pictures



TOMODACHI世代サミットはジョン・ルース前駐日米国大使の基調講演で幕を開ける



アイリーン・ヒラノ・イノウエ米日カウンシル会長がアラムナイを歓迎



アラムナイらはどのようにTOMODACHIの経験が彼らの人生や現在の活動に影響を与えたのかを語る



TOMODACHIアラムナイは、実施された9つの実践的なワークショップへ参加



米国国務省教育文化局のエバン・ライアン教育文化担当国務次官補とTOMODACHIアラムナイ5名との交流



サミットの締めくくりのレセプションには、TOMODACHIアラムナイをはじめ、協賛および関連企業の皆様、そして日系アメリカ人のリーダーが参加

次世代の リーダーシップ

1. TOMODACHIアラムナイは音楽、災害救助、個人的成長に重点をおいたディスカッションに参加しました。
2. TOMODACHIアラムナイは米国商工会議所主催で行われ、様々な分野の著名人がスピーカーとして登壇した“日本人女性のためのビジネスサミット”に出席しました。
3. 様々なTOMODACHIイニシアチブプログラムに参加した30人を超えるTOMODACHIアラムナイが、東京で開催されたTOMODACHIアラムナイ・デイに集結しました。アラムナイ・デイではリーダーシップ・技術開発・ネットワーキングの機会が提供されました。
4. TOMODACHIアラムナイはパシフィック・ヴィジョン21のレセプションに出席しました。前内閣総理大臣の福田康夫氏、前米国日本大使の藤崎一郎氏、メジャーリーグで2人目の日本人ピッチャーとして活躍した野茂英雄氏、そして国際連合事務次長を務めた明石康氏など著名な方々と将来の日米関係について話す機会を得ました。
5. TOMODACHIアラムナイはマサチューセッツ州ボストンで東日本大震災の追悼式典に参加し、ボストンの人々を励ました。
6. TOMODACHIアラムナイは仙台で開催された第3回国連防災世界会議で地域復興プロジェクトの発表を行いました。
7. TOMODACHIアラムナイ、キャロライン・ケネディ駐日米国大使及びアイリーン・ヒラノ・イノウエ米日カウンシル会長が岸田文雄外務大臣を表敬訪問しました。
8. ミシェル・オバマ米大統領夫人、安倍昭恵内閣総理大臣夫人と面談し、東北からのメッセージを伝えました。
9. 福島と岩手、東京で実施された5つのTOMODACHIプログラムのアラムナイが、東京開催のプロフェッショナル ディベロップメント セッションに参加しました。
10. 福島と岩手、東京で実施された5つのTOMODACHIプログラムのアラムナイが、東京開催のプロフェッショナル ディベロップメント セッションに参加しました。



実施運営パートナー

TOMODACHIではプログラム運営にあたり、多くの実施団体であるパートナーと協力して、次世代を担う若い世代に人生の転機となるような機会を提供しています。2015年にはTOMODACHIの資金提供により、以下のパートナーがプログラムを実施しました。

特定非営利活動法人陸前高田市支援連絡協議会AidTAKATA | アメリカン・カウンシルズ・フォー・インターナショナル・エデュケーション | 特定非営利活動法人ビッグッドカフェ | バークレー音楽大学 | Children's National Health System | Cultural Vistas | ファッション工科大学 | 一般財団法人教育支援グローバル基金 | NPOハワイシニアライフ協会 | iLEAP | 一般社団法人IMPACT FOUNDATION JAPAN | 特定非営利活動法人International Foster Care Alliance (IFCA) | 国際学生会議 | 岩手大学 | 一般社団法人HLAB | ハワイ日米協会 | 国際交流基金 | 公益社団法人日本国際生活体験協会 (EIL) | ジャパン・ソサエティー | NPO法人じぶん未来クラブ | 全国自立生活センター協議会 | 公益財団法人万次郎ホイットフィールド記念 国際草の根交流センター (CIE) | ジュリアード学院 | 慶応義塾大学 湘南藤沢キャンパス (SFC) | Kizuna Across Cultures (KAC) | ローラシアン協会 | ルミナラーニング | マーシー・コープス | 特定非営利活動法人みやぎ産婦人科医療情報ネットワーク協議会 | アラスカ州立大学アンカレッジ校のモンゴメリ・ディクソン日本語日本文化教育センター | 全米日米協会連合 | National Science Teachers Association | 一般社団法人 東京ニュービジネス協議会 | パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザイン | ニューヨーク・フィルハーモニー Very Young Composers Program | Ryukyufrogs | スタンフォード大学ビジネススクール | 一般社団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション | テイラー・アンダーソン記念基金 | テンプル大学 | 日米交流財団 | ワシントンセンター

未来に向けて



Takeda Pharmaceutical Company Limited

TOMODACHIの基盤強化

TOMODACHIイニシアチブは、TOMODACHIの運営・管理面の強化に特化した寄付をいただいた武田薬品工業株式会社に深く感謝申し上げます。組織が効率的にそのミッション達成するには、専任スタッフと十分なリソースが必要です。武田薬品工業株式会社からの多額の寄付金により、参加者の人生を変えるような各種プログラムを開発し、TOMODACHI世代を育成し、強固かつ永続的な日米関係の構築を目指すことが可能となっています。



EVOLUTION FINANCIAL GROUP

2015年春から、Evolution Financial Groupからニューオータニ・ガーデンコート内に、米日カウンシルージャパンとTOMODACHIイニシアチブのオフィススペースをご提供いただいております。

TOPPAN

凸版印刷ロゴ

「2015年TOMODACHIイニシアチブ活動報告書」の印刷にあたり、凸版印刷株式会社にご支援いただきました。



U.S.-Japan Council Leadership and Support

米日カウンシルージャパン理事会

アーネスト・エム・比嘉、代表理事;
ヒガ・インダストリーズ 代表取締役会長兼社長、
株式会社ジェーシー・コムサ 取締役、株式会社新生銀行 取締役

アイリーン・ヒラノ、副理事長;
米日カウンシル 会長

デービッド 西田、専務理事;
ハドソン・ジャパン株式会社 代表取締役社長兼チーフファイナンシャルオフィサー

ウィリアム・ジーザス・アイアトン、
アイアトン・エンターテインメント 代表取締役

川原 K. ラッセル、
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー

ジェイムズ・ミナモト、
アンダーソン・毛利・友常法律事務所 シニア・フォーリン・カウンセル; 外国法事務弁護士

米日カウンシルージャパン評議員会

ポール 与那嶺、会長;
日本アイ・ビー・エム株式会社代表取締役社長執行役員

ローヤン・ドイ、
ブルデンシャル・フィナンシャル 最高倫理責任者

ダニエル 藤井、
トラスト・キャピタル株式会社 代表取締役社長

キャシー 松井、
ゴールドマン・サックス証券株式会社 副会長

スコット 佐藤、
株式会社パソナ 代表取締役社長



高まる
TOMODACHIの広がり

1



2



3



4



5



6



7

TOMODACHIの知名度を高め、日米の若者による交流の重要性を、幅広く伝えることに尽力してくださった数多くのパートナー企業の皆様に、厚く御礼申し上げます。

1. TOMODACHIロゴを機体にデザインした全日空機
2. 羽田空港内の各所に設置されたTOMODACHIの看板
3. 日本各地のローソンとファミリーマートの店舗に設置されたTOMODACHI基金箱
- 4-5. 5th Annual World Gardening Fair at Hotel Okura Tokyo with donations to TOMODACHI
- 6-7. Chef Nobu Matsuhisa holds charity dinners with celebrity chefs for TOMODACHI

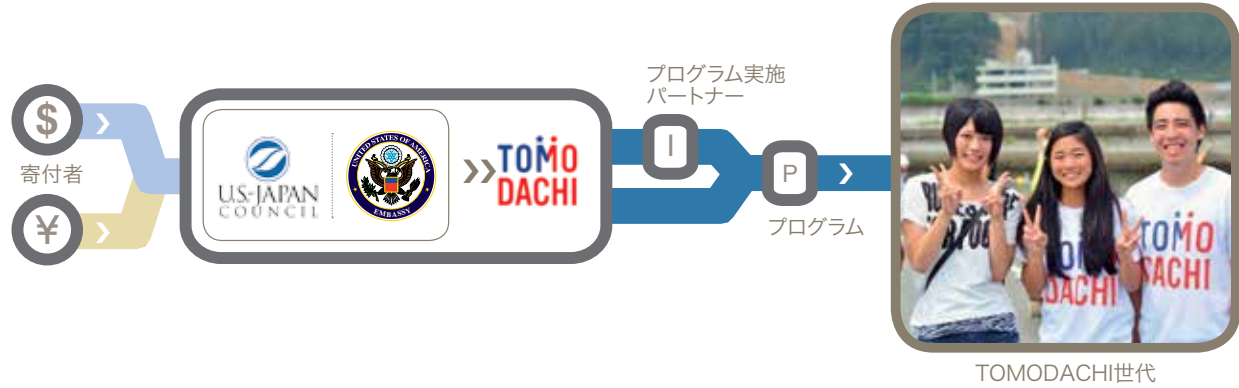
ユニークな官民
パートナーシップ



米日カウンシル(U.S.)および米日カウンシルージャパンは、在日米国大使館と協力し、官民パートナーシップであるTOMODACHIイニシアチブを管理・運営します。プログラムの開発と管理、コミュニケーションと普及活動、マーケティング、活動資金調達、寄付者との折衝などを主な活動としています。

米日カウンシル(U.S.)は、ワシントンD.C.に本部を置く501(c)(3)非営利非課税組織で、日米のあらゆる世代の人と人をつなぐ活動をする団体です。

米日カウンシルージャパンは、東京で設立された公益財団法人です。米日カウンシルージャパンと米日カウンシル(U.S.)は別組織で、それぞれ独立した理事会によって運営されますが、双方が緊密に協力してTOMODACHIを運営しています。寄付者はその拠点が米国、日本のいずれを問わず、TOMODACHIイニシアチブに寄付した場合、日米それぞれの非営利組織に関する法律の定める範囲内で税の優遇措置を受けることができます。



以下の財務報告書は、TOMODACHIイニシアチブ設立以降の米日カウンシルージャパンおよび米日カウンシル(U.S.)の要約された財務報告書です。米日カウンシルージャパンの監査済み財務諸表は、www.tomodachi.org/jaで、また米日カウンシル(U.S.)の監査済み財務諸表はwww.usjapancouncil.orgに掲載されています。

U.S.-Japan Council (Consolidated)
Cumulative TOMODACHI Commitments by Year (USD)

	2011-2014	2015	2016-21	Total
TOMODACHI CONTRIBUTIONS AND PLEDGES				
USJC (Japan)	\$ 14,222,735	\$ 3,469,522	\$ 5,660,639 ¹	\$ 23,352,896
USJC (US)	12,265,085	1,765,307	4,900,922 ¹	18,931,314
In-Kind Donations (US-Japan)	2,812,400 ²	543,222 ²	2,000,000 ³	5,355,622
Total Contributions and Pledges	\$ 29,300,220	\$ 5,778,051	\$ 12,561,561	\$ 47,639,832

TOMODACHI EXPENSES				
USJC (Japan) Programs and Program Support	\$ 7,486,515	\$ 4,830,697	\$ 5,094,575	\$ 17,411,787
USJC (US) Programs and Program Support	9,544,005	1,496,397	4,410,830	15,451,232
Total Programs and Program Support Expenses	17,030,520	6,327,095	9,505,405 ⁴	32,863,020
USJC (Japan) Administration and Fundraising	436,670	201,279	509,458	1,147,407
USJC (US) Administration and Fundraising	515,250	130,122	441,083	1,086,455
Total Administration and Fundraising	951,920	331,401	950,540 ⁴	2,233,861
In-Kind Expenses (US and Japan)	2,812,400 ²	543,222 ²	2,000,000 ³	5,355,622
Total Expenses	\$ 20,794,840	\$ 7,201,717	\$ 12,455,945	\$ 40,452,503

U.S.- Japan Council (U.S.)

TOMODACHI Statement of Financial Position (USD)			
	2015	2014	
Current Assets			
Cash and Cash Equivalents	\$ 2,068,887	\$706,034	
Accounts Receivable	1,358,178	2,721,832	
Other Current Assets	-	-	
Intangible Assets - Trademarks	2,335	2,335	
Total Assets	3,429,400	\$3,430,201	
Liabilities			
Accounts Payable	15,547	166,577	
Other Current Liabilities	-	-	
Net Assets	3,413,853	3,263,624	
Total Liabilities and Net Assets	\$ 3,429,400	\$ 3,430,201	

Income and Expense Summary			
	2015	2014	
Income			
TOMODACHI Corporate Donations	\$ 1,764,243	\$ 2,693,857	
TOMODACHI Individual Donations	1,064	4,532	
Interest Income	-	-	
Total Income	1,765,307	2,698,389	
Expenses			
Program and Program Support	1,496,397	2,305,219	
Administrative and Fundraising	130,122	190,796	
Total Expenses	1,626,519	2,496,015	
Currency Exchange Revaluation	39,919		
Total Change in Net Assets ⁵	\$ 98,869	\$ 202,374	

U.S. - Japan Council (Japan)

TOMODACHI Statement of Financial Position (USD)			
	2015	2014	
Current Assets			
Cash and Cash Equivalents	\$ 4,972,984	\$ 7,154,048	
Accounts Receivable	-	2,133	
Other Current Assets	4,638	-	
Fixed Assets	481	1,444	
Total Assets	4,978,104	7,157,625	
Liabilities			
Accounts Payable	492,806	682,892	
Other Current Liabilities	208,779	14,544	
Net Assets	4,276,518	6,460,189	
Total Liabilities and Net Assets	\$ 4,978,104	\$ 7,157,625	

Income and Expense Summary			
	2015	2014	
Income			
TOMODACHI Corporate Donations	\$ 3,455,427	\$ 4,892,050	
TOMODACHI Individual Donations	14,095	10,224	
Interest Income	1,054	807	
Total Income	3,470,577	4,903,081	
Expenses			
Program and Program Support	4,830,697	4,825,912	
Administrative and Fundraising	201,279	187,640	
Total Expenses	5,031,976	5,013,552	
Currency Exchange Revaluation	4,922		
Total Change in Net Assets ⁵	\$ (1,556,478)	\$ (110,471)	

- 2016年から2021年までに確約されている寄付金等(2015年12月31日時点)。
- 現在に至るまでの寄付行為及び現物寄付に値する金額。
- 2016年から2021年までの寄付行為及び現物寄付額見残り。
- 2016年から2021年までのプログラム及びプログラム支援管理と資金調達、プログラム管理費合計の見残り。
- 純資産変動額総額は特定年度の寄付額と支出額のみを反映しています。前年度(以前)に受領した複数年にわたる寄付や次年度(以降)に発生する支出は反映されていません。純資産のマイナス変動は現金持高や寄付総額と支出額のバランスがマイナスであることを示すものではありません。寄付の受領と支出発生の記録時期により、どの年度でも純資産変動額総額がプラスやマイナスの変動となる場合があります。



感謝を込めて

ファウンディング・ストラテジック・パートナー

(\$1,000,000 or more, with initial donation in 2012)

Coca-Cola



Mitsubishi Corporation



MUFG

SoftBank Group



Takeda Pharmaceutical Company Limited

TOYOTA



「TOMODACHIイニシアチブをご支援いただいている沢山の企業・団体のパートナーの皆様には感謝しています。革新的な交流プログラムを通して、TOMODACHIは強固な日米関係を約束する、明日のリーダーを育成しているのです。」

— キャロライン・ケネディ駐日米国大使



ストラテジック・パートナー

(\$1,000,000 or more)

Aflac

Daiwa House

あなただと、コンビニに
FamilyMart

Goldman Sachs

HONDA
The Power of DreamsJohnson & Johnson
FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN

J.P.Morgan

LAWSON

McKinsey & Company

MetLife
メットライフ生命Prudential
Foundation

Sumitomo Corporation

SUNTORY

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

協賛者/協賛企業

(\$100,000 to \$1,000,000)

American Airlines

ANA

Bank of America
Merrill Lynch

BOEING



DELTA

DOW

EVOLUTION FINANCIAL GROUP

HITACHI
Inspire the Next

JAPAN AIRPORT TERMINAL

kikkoman

KPMG
cutting through complexityMITSUBISHI
HEAVY INDUSTRIES, LTD.
Our Technologies. Your TomorrowMIZUHO
Mizuho Financial Group

Morgan Stanley

NORTHROP GRUMMAN

Panasonic

PASONA

SMBC
SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

UNITED

支援者/支援企業

(\$10,000 to \$100,000)

Anderson Mori & Tomotsune

Hotel Okura Tokyo Co., Ltd.

Tokio Marine & Nichido Fire
Insurance Co., Ltd.

ARK HILLS CLUB

Imperial Hotel, Ltd.

Tricor K.K.

Atsumi & Sakai

Japan Association of Charitable
Organizations

Wally Yonamine Foundation

CK Service Corporation
(Calvin Klein)

Kurion Inc

YKK Corporation

Council for Better Corporate
Citizenship (CBCC)

Nobu's Japan

Orrick, Herrington & Sutcliffe LLP

ExxonMobil Japan

Professor Kohei Funatsu & Son

共にTOMODACHI世代の育成に投資しましょう!



twitter.com/TOMODACHI



youtube.com/USJapanTOMODACHI



facebook.com/USJapanTOMODACHI



instagram.com/tomodachi_initiative

tomodachi.org